

中学3年 国語「学んで時に之を習ふ」『論語』から」 ～あなたに贈る孔子の言葉～

ねらい

- ・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れることができる。
- ・人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちと関連づけて考えることができる。

学習展開（3時間）

- ① 単元の見通しを確認した後、NHK for school の動画を活用し、「論語」とは何かを知る。
 - ・教科書掲載の4つの章句を音読し、内容を捉える。
- ② 漢文の訓読の仕方を復習する。
- ③ 学校図書館の本を活用し、教科書掲載の章句以外の「論語」（孔子）の言葉に触れ、心に残った言葉を「誰かに贈る」という設定のもとで選ぶ。
 - ・選んだ言葉がどのような意味なのか、また、誰に贈りたいのか、どうしてその言葉を選んだのか等をワークシートに記入する。
 - ・選んだ言葉を互いに交流する。

指導のポイント

1つの言葉を「座右の銘」として自己の励みにする、友人の人生の門出に言葉を贈る、といったように、言葉が心のよりどころとなることがある。多くの人が心のよりどころとして選ぶ名言の出典の1つに「論語」がある。教科書で4つの章句しか取り上げられていないため、よりたくさんの言葉に触れることをねらいに、学校図書館を利用することにした。

<以下、指導のポイント>

- ・本を実際に手に取り、教科書掲載以外の章句を解説とともに、できるだけたくさん読むように指示する。
- ・心に残った言葉を「誰か」に贈る設定で1つ選び、書き下し文の形で書かせる。（※漢文の学習のため。）
- ・本に書いてあることをただ写すだけでなく、ワークシートにはその言葉を選んだ理由等、自分の考えを書く欄を設け、その部分をしっかりと記入するように伝えた。



学校図書館との関わり

- ◇学校司書に依頼し、一人1冊、手元に本が渡るように冊数をそろえてもらった。
- ◇本は、小学生でも読めるようなものから、大人向けの文庫本まで、幅広いジャンルで用意してもらった。
- ◇図書館で授業を行うことで、用意した書籍だけでなく、調べる中で言葉が分からない生徒には辞書等の活用を勧めることができた。
- ◇授業後に、活用した書籍の展示を行った。

あなたに贈る孔子の言葉

学びて時にこれを習ふー「論語」からー(発展編) 学習ワークシート②

*心に残った「論語」の言葉を友人に、後輩に、そして自分に贈ろう。

三年

選んだ言葉(書き下し文で)

吾れ日に三たび吾が身を省む

出典：齊一勝 著 『ココロカ論語』 2014年 6/8 さいごうインターナショナル

◆意味

一日のうち3回、自分で言った言葉や行動をチェックして反省することが大切なんだよ。

◆この言葉のメッセージは？どうしてOOに贈りたいと思った？

夢があるならそれに向か、こいくため
にそれなりのこともしなきゃだと思つ
し、まずは自分の中で反省出来るカを
つけたいから。

◆贈りたい言葉

自分を含め、小さなことでも夢がある人

あなたに贈る孔子の言葉

*心に残った「論語」の言葉を友人に、後輩に、そして自分に贈ろう。

学びて時にこれを習ふー「論語」からー(発展編) 学習ワークシート②

三年

選んだ言葉(書き下し文で)

性、相り近し。習り、相遠し。

出典 青山由記 身近な出来事わかる はじめての論語
株式会社 岩崎書店 二〇一九年 十月三十一日

◆意味

生まれながらの能力にちがいはない。身につけた習慣や教養で、差が出る。

◆この言葉のメッセージは、どうしてOOに贈りたいと思ったか

「才能」とかいう言葉はあるけど、それはその人の生活や努力の先にあるもので、生まれつきのものではないと知って、後輩の少し運動が苦手な人に贈って、これをきっかけに自信をもつてがんばってほしいと思ったから。

◆誰に贈りたいか

部活の後輩